

令和8年度人権教育連続講座

# イキイキ人間学

人権が尊重され、明るく住みよい社会をつくるためには、一人ひとりが生きがいを持ち、地域に住む人々の幸せを願い、人々が力を合わせ理解と協力の輪を広げていくことが大切です。

市民の皆様、人権学習推進委員会の推進委員・事務局員の方々ふるってご参加ください。

<第1回> 7/16(木)14:00~15:30

## 「燃料にしない炭(バイオ炭)を地球温暖化緩和と地域経済活性化に役立てる」

講師/立命館大学OIC総合研究機構日本バイオ炭研究センター  
客員教授 日本バイオ炭普及会長 沖森 泰行 氏

地球温暖化が私達の身近な問題になっています。地球温暖化の主な原因は、二酸化炭素など温室効果ガスの増加にあります。その温室効果ガスを削減するのに、炭素の固まりである炭(バイオ炭)を積極的に活用することが有効です。

また、バイオ炭が広まるには、社会経済的な仕組みが必要になります。バイオ炭との出会いや、それを地球温暖化対策に繋げる多くの人達との出会いなど、私の半生を交えながらお話します。

<第3回> 9/18(金)14:00~15:30

## 「エコでエシカルな『里山暮らし』を教材化する」

講師/一般社団法人はにわの森 共育コーディネーター  
真庭市教育委員会 郷育魅力化コーディネーター  
大岩 功 氏

体験の飢餓や体験格差に抗うためには、共育の最適化が必要です。五間(ゴマ)=空間+時間+仲間+手間+狭間のうち、狭間を楽しむために「対話と暮らし」や「共生の約束」を大切にしています。そのために、「暮らしをつくる」「世界をつなぐ」「源体験」を提供する取組についてお話しさせていただきます。

<第5回> 11/18(水)14:00~15:30

## 「映画の力を信じて」

講師/映画監督 石邨 清士 氏

令和5年、戦争と平和がテーマの「ドキュメント映画未来へのバトン」を初監督しました。空襲被害が中心でしたが、加害を加えることも大事と、二作目「ドキュメント映画アナログッド」を監督しました。戦争は侵略・無差別空爆等、人権無視の悪行です。今後も社会問題をテーマに、映画の力を信じて2年ごとに制作予定です。

<第2回> 8/26(水)14:00~15:30

## 「非行少年の立ち直りについて考える」

講師/岡山大学社会文化科学研究学域(文)  
准教授 都島 梨紗 氏

私たちは普段、少年非行の逮捕などの報道を目にしますが、かれら・かのじよらがその後どのような人生を歩んでいるのかを知ることはほとんどありません。本講座では、少年院や刑務所を経験した若者に焦点を当て、かれら・かのじよらが大人になるうえでどのような障壁や困難を経験するのかをお話します。また、矯正施設を経験した若者をゲストスピーカーとしてお招きし、ライフストーリーをお話してもらいます。当事者の語りに耳を傾けて、立ち直りに必要なことは何なのかをみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

<第4回> 10/21(水)14:00~15:30

## 「多文化共生社会に向けて ~気づこう、マイクロアグレッション~」

講師/(公財)大阪府国際交流財団 企画推進課  
課長補佐 吉川 友香 氏

日本で暮らす外国人は、年々増加の一途をたどっています。同様に、海外にルーツを持つ人も増えています。しかしながら、比較するとまだまだ少数派の彼等のことをよく知らないまま、何気ない言葉で傷付けている可能性があることをご存じですか？

身近に潜む偏見について、分かりやすくお伝えしたいと思います。

受講料  
無料

対象：倉敷市に在住・在学・在勤の方  
定員：各回 50名  
会場：ライフパーク倉敷 中ホール

<お申込み・お問合わせ>

ライフパーク倉敷 市民学習センター  
TEL 086-454-0011 【担当】小田・江口

※各回とも、当日の申し込みも受け付けています。

※発熱やのどの痛み、咳等がある方や体調がすぐれない方は、参加をご遠慮ください。

※講演開始時刻2時間前の時点で「暴風警報」や「特別警報」が発令されている場合は中止とします。